



きよこ(母)
市議員

明るく元気なうまい家のお母さん。めったに怒ったり強制したりはしないが、片づけをしないと鬼の形相。仕事と家事を見事に両立するパワフルママ。



まさゆき(父)
静岡大学教授

マイペースババ。力強い母と二人三脚で4人を育て、子供たちが家を出て行った現在は研究に没頭しながら、レインとねこちゃんに愛情を注ぐ毎日。



せいいち(長男)
会社員

景会社の半導体の研究に携わっているそう。うまい家唯一の理系人間。そのためうまい家で彼の仕事について詳しくたずねる者はいない。



れいん
(いぬ)

馬居家の食卓



ねこちゃん
(ねこ)

ホームページに公開している「馬居家の食卓」のため、
緊急にみんなを招集しました。
今回のテーマは「チャイルドファースト社会の構築」です。



ゆうこ(長女)
学生

静岡県内の大学を卒業したもの、現在も未来の野望に向けて日々勉強中。マイペースに夢を追いかけ中。



こうじ(次男)
学生

東京の大学に入学し、高校時代からの夢であったニュージラントに語学留学、留学して10キロ増。特技はダイエット。



たかこ(次女)
専門学生

うまい家唯一の手先の器用さを生かすべく、現在美容専門学校にて美容師になるため日々奮闘中。うまい家のノーマンズで家族を和ませる。

① 長女のゆうこです。選挙が終わって、いよいよ政令市がスタート。ママも張り切っているね。経済消防防災委員長になって、男ばかりの世界で、最初は戸惑ったようだけど、あの気性だから心配ないね。私たち「馬居家の食卓」のメンバーも、お母さんを支えていますのでこれからも母をよろしくお願いします。ところで「子ども優先」(チャイルドファースト)の社会をめざして、いよいよ公明党が日本の未来づくりをはじめたようね。

② 静岡市でも、新しい議会でお母さんが提案した「子育て支援策調査特別委員会」が始まるんだって！

③ 去年の合計特殊出生率が1.288で最低記録を更新したとテレビのニュースキャスターが騒いでたけど…。兄弟姉妹4人の三番目で、上と下から攻められて育った僕には実感がないよな。子どもが生まれないと何が問題なんだろう。

④ 年金をはじめとして、生活を支える仕組みがこわれる可能性があることは確かだ。それに子どもは「未来からの使者」っていうだろう。子どもが減るってことは、日本の未来が減るってことじゃないか。

⑤ さすが長男、いいこというね。四番目の私が馬居家と日本の未来を豊かにしてるんだよね。ということは、公明党のプランは私をいっぱいいつくるってことじゃん。

⑥ まさか…でもそうかな…お父さんどうなの？

⑦ そのとおりだよ。日本の未来を、たかちゃんのように、どこの家にも四番目の子どもが生まれるような社会にしたい、これが公明党のプラン作成への願いだし、お母さんが議員になった理由だよ。でも残念ながら簡単なことではない。お父さんは戦争が終わって4年たった昭和24年に生まれただけ、その年は270万人も生まれた。4人兄弟なんてざらだった。それが去年は112万人、半分以上減。60年かけて減ったわけだから、一年や二年で戻すのは難しい。だから公明党は二段階にわけて作業を開始したようだね。

⑧ その一段階目が今回の「『チャイルドファースト』2005緊急提言—もつと、生まれる社会」なんだね。

⑨ そして二段階目は、これから一年かけていろんな人の協力を得てつくる。

⑩ それでこの間、おやじも講義にいったの。公明新聞でちょっとみたよ。

⑪ 父母ともにがんばるだね。サブタイトルの「もつと、生まれる社会」っていいね。子どもは強制して生まれるものじゃないよ。

⑫ ほんと、そうだよ。わたしたち年頃の女性(?)が子どもを産まないのにはそれだけの理由があるんだから。それを聞くことから始めてほしいね。

⑬ たしかに…。だから緊急提言で「特命大臣の設置」を最初にあげたの。

⑭ 「子どもがうまれたい社会」は「誰にとっても生きやすい社会」なんだ。それは何より、みんなの仕事の仕方が変わらないと実現できない。だから政府のなかに子育て支援に責任を取る人がいなければダメなんだ。政府だけではなく地方自治体や地域の人たちの力も必要。少子化対策に長年取り組んできた公明党だからいえることだな。

⑮ 「児童手当を小学校6年まで広げる」ってのはいいね。将来は中学3年までね。それに「医療費助成の対象年齢拡大。所得制限の撤廃」というのも大事ね。

⑯ そうだね。静岡市は医療費助成だけは所得制限をなくしている。ずっと続けてほしいものだ。

⑰ 「希望者全員に奨学金を貸与」「出産一時金を引き上げ、妊産婦健診の助成を拡大」等々、公明党の「子ども優先」というのは、産まれる前から大人になるまでを一貫して支援するものなんだね。

⑱ なるほど。だから「うまれたい社会」が「生きやすい社会」なんだ。

⑲ ちょっと待ってよ、子どもを産むのは女性だけど、男性はどうなの。

⑳ 「男性の育児休業を進める企業に支援制度を創設」ってあるけどこれかな。

㉑ そうだよ。これが本当は最も大事なこともかもしれないね。男性は子どもを産むことができないんだから、せめて育てることに責任を持たなければね！

㉒ そうだね。そうならば、私も安心して子どもを生めるかな???

㉓ うーん、おれも変わらなきゃいけないのかな…

㉔ お父さんもね。だけど個人の努力だけでは解決できないことも多い。今回の提言はあくまで緊急のもの。これから1年かけて誰もが子育てに参加できる社会に変えるためのプランづくりに公明党は取り組むわけだ。そのためには国会議員だけでなく、全国の地方議員や支援者の人たちにも参加してもらい、まさに国民運動になるように進めてほしいね。

㉕ お母さんが選挙のときに約束した学校区ごとに「育児・介護・防災支援センター」をつくるというのがその代表かな。

㉖ お母さん、がんばって。お父さんもね。それから少子化についての詳しいことは、ホームページの「馬居家の食卓」でも話し合います。楽しみにしていてください。



一言。6月27日(月)「政令市の子育て支援策」と題して、政令指定都市になってはじめての総括質問をします。時間のある方は、是非、清水総合庁舎4階の議場へ、傍聴にいらして下さい。4番目で、午後1時41時半頃始まります。